

PASSION
FOR THE
BEST

テクニカル分析講座 Vol.2

チャート分析編

商号等

大和証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第108号

加入協会

日本証券業協会、社団法人日本投資顧問業協会

社団法人金融先物取引業協会

大和証券

Daiwa Securities

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗(支店担当者)経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大1.20750%(但し、最低2,625円)の委託手数料(税込)が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。

株式等の売買等にあたっては、価格の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。

信用取引を行うにあたっては、売買代金の30%以上で、かつ30万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。

非上場債券(国債、地方債、政府保証債、社債)を当社が相手方となりお買付けいただく場合は、購入対価のみお支払いいただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。

投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。

外国株式の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。こうした銘柄については、外国証券内容説明書をご覧ください。

当社と大和証券SMB C(株)とは、(株)大和証券グループ本社を親会社とする同一のグループ会社であり、かつ大和証券SMB C(株)は平成20年3月以降下記の銘柄に関する募集・売出し(普通社債を除く)にあたり主幹事会社となっております。

成学社(2179) リニカル(2183) ソーバル(2186) インフォーマート(2492) アスコット(3264) 三井鉱山(3315) トリドール(3397) ザッパラス(3770) トライウォール(3957) 中央三井トラスト・ホールディングス(8309) オリックス(8591) T&Dホールディングス(8795) フロンティア不動産投資法人(8964) (銘柄コード順)

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商) 第108号
加入協会 : 日本証券業協会、 社団法人日本投資顧問業協会、 社団法人金融先物取引業協会

目次

各種チャート分析の手法

トレンドの判定	4
チャートパターン	7
支持と抵抗	12
波動の測定(上値メド・下値メドの算出)	13
サイクル(日柄分析)	17
ローソク足	19

弊社提供チャート分析ツール「多機能チャート」の使い方

基本操作等	27
-------	----

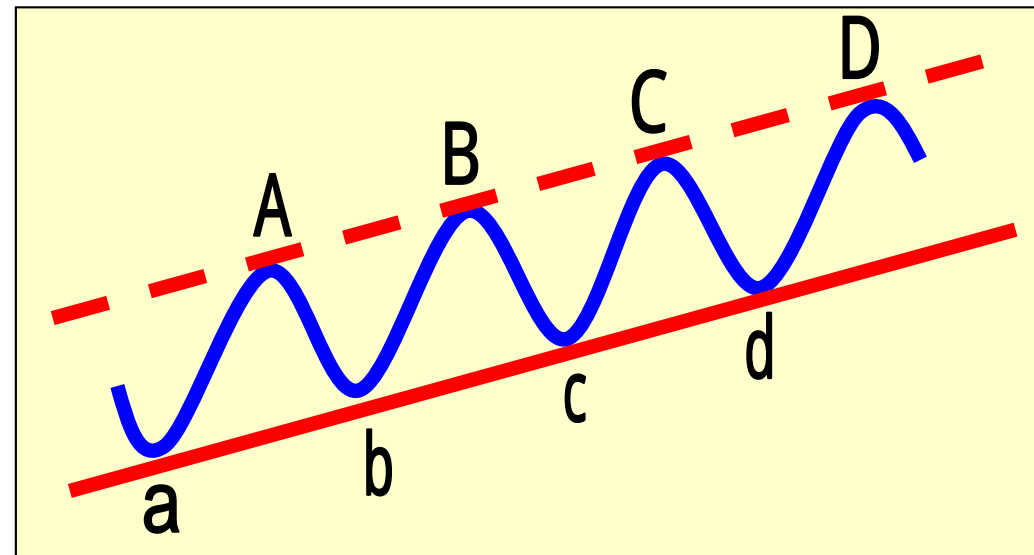
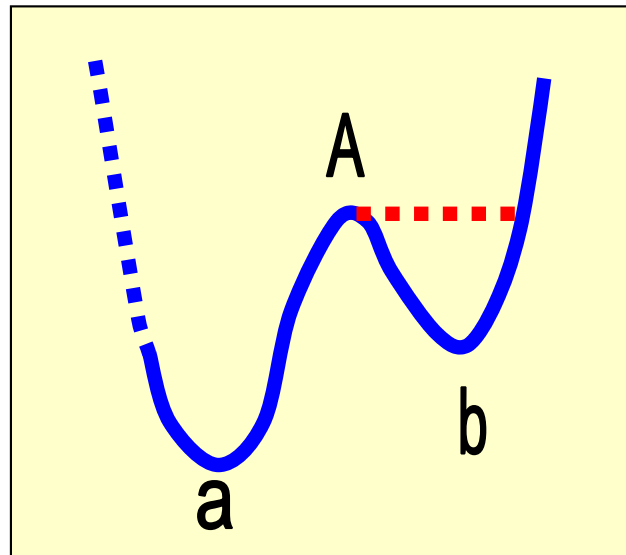
チャート分析による相場展望

日経平均 波動	31
NYダウ 日柄分析	32
円ドルレート チャートパターン	33
日経平均 トレンド	34

1.トレンドの判定

(1)トレンドとは

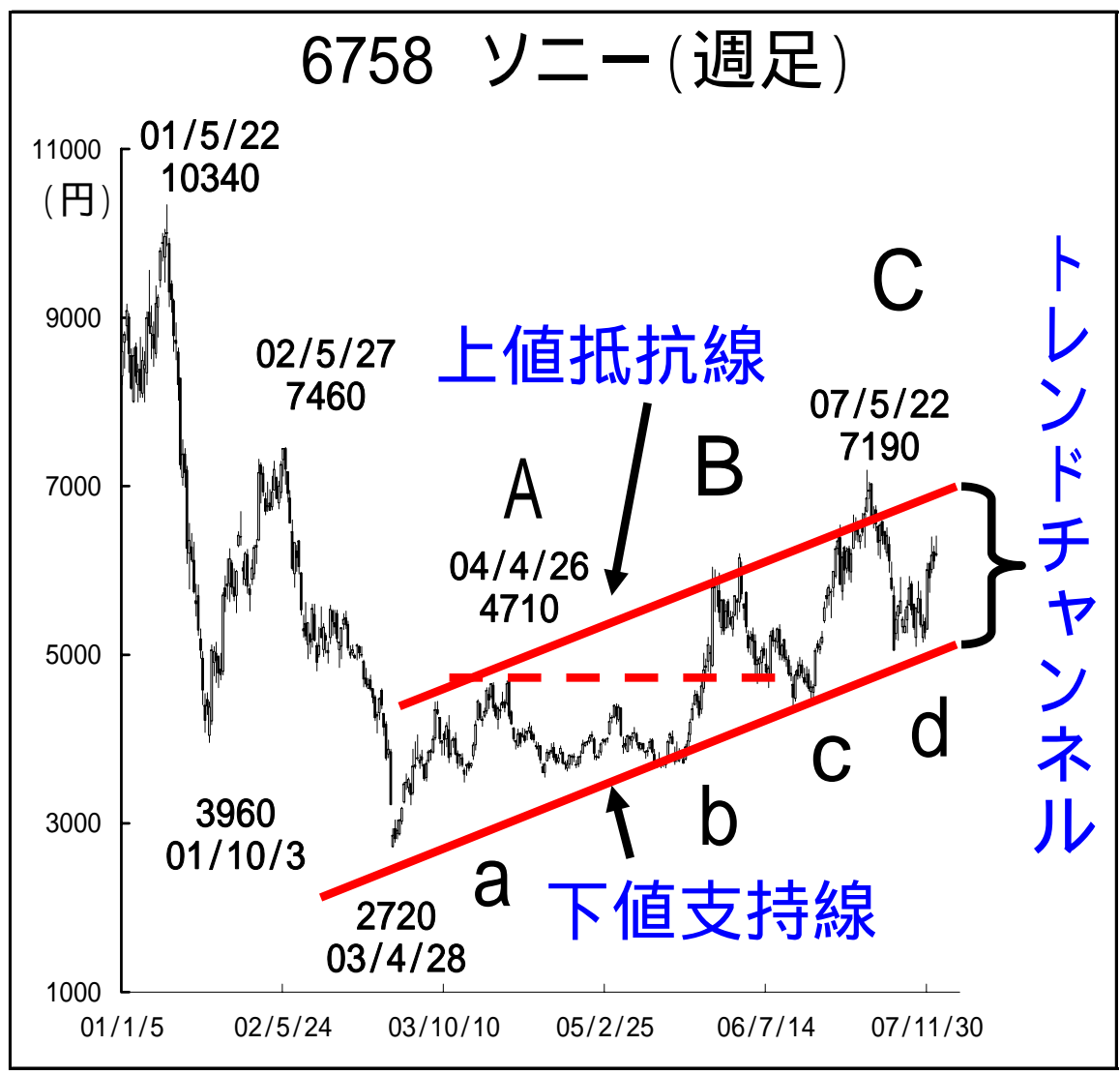
トレンドとは株価の動く方向を意味する。通常、株価は直線的に動くことは少なく、山と谷を形成しながらジグザグに動く。この山と谷の動きが上昇、下降、横ばいのいずれの方向にあたるかによって株価のトレンドを判定することができる。



1.トレンドの判定

(2)トレンドの判定

下げ続けていた株価のボトムbがボトムaを上回り、時価が直前のピークAを上回ったとき、上昇トレンドへ転換したと判断する。また、このような形が継続し、図のようにピークとボトムを切り上げる $a < b < c < d$ 、 $A < B < C < D$ が成り立つとき、株価は「上昇トレンドを形成している」という。ボトムとボトム、ピークとピークは直線上に並ぶことが多く、前者を下値支持線、後者を上値抵抗線と呼び、これら2本の線に囲まれたゾーンをトレンドチャンネルと呼ぶ。



本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見、予測等は、資料作成時点における当社の判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

1.トレンドの判定

トレンドの判定方法には移動平均線を利用したものもある。移動平均線は日々のジグザグな動きをならしたものであり、移動平均線の上昇転換で株価が上昇トレンドに転じたと判断する。トレンド判定のためには、通常中期(13週線・26週線)、又は長期(52週線)の移動平均線を使用する。また、移動平均線は下値指示線(P.10参照)や上値抵抗線として機能することも多い。



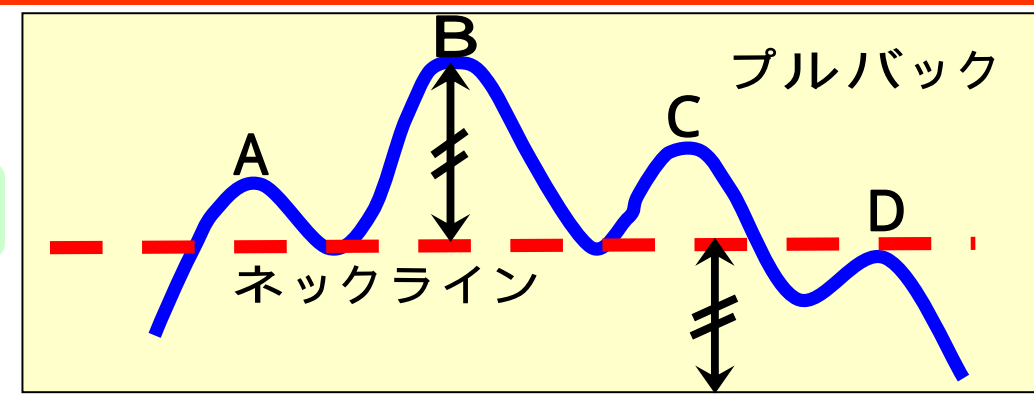
2. チャートパターン

(1) 天井形成パターン

三尊天井 (ヘッド・アンド・ショルダー)

出来高が $A > B > C$ となり、株価は B 後の押しが必ず A の天井より低くなる。C の局面では出来高が著しく減少し、戻りも B の高値まで達せず下落する。それぞれの安値を結んだ「ネックライン」を割ることでこのパターンが完成する。

中・長期のトレンド転換を表すもので、下値メドは大天井からネックラインまでの値幅をネックラインから下方へとった値幅となる。



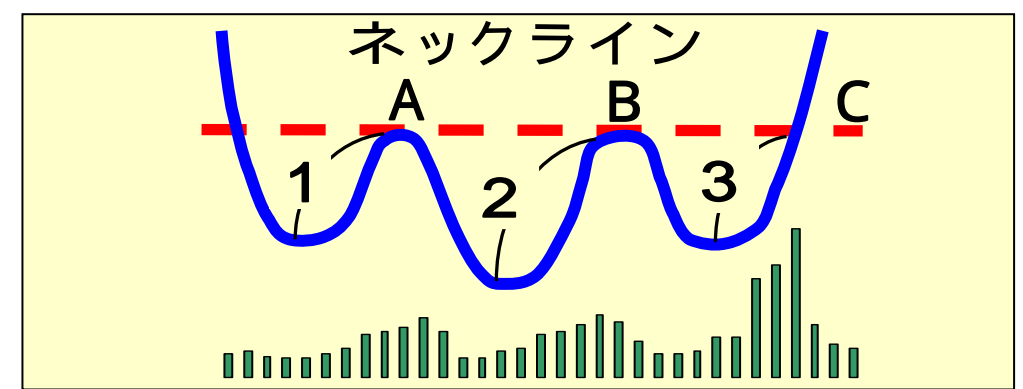
本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見、予測等は、資料作成時点における当社の判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

2. チャートパターン

(2) 大底形成パターン

逆三尊型

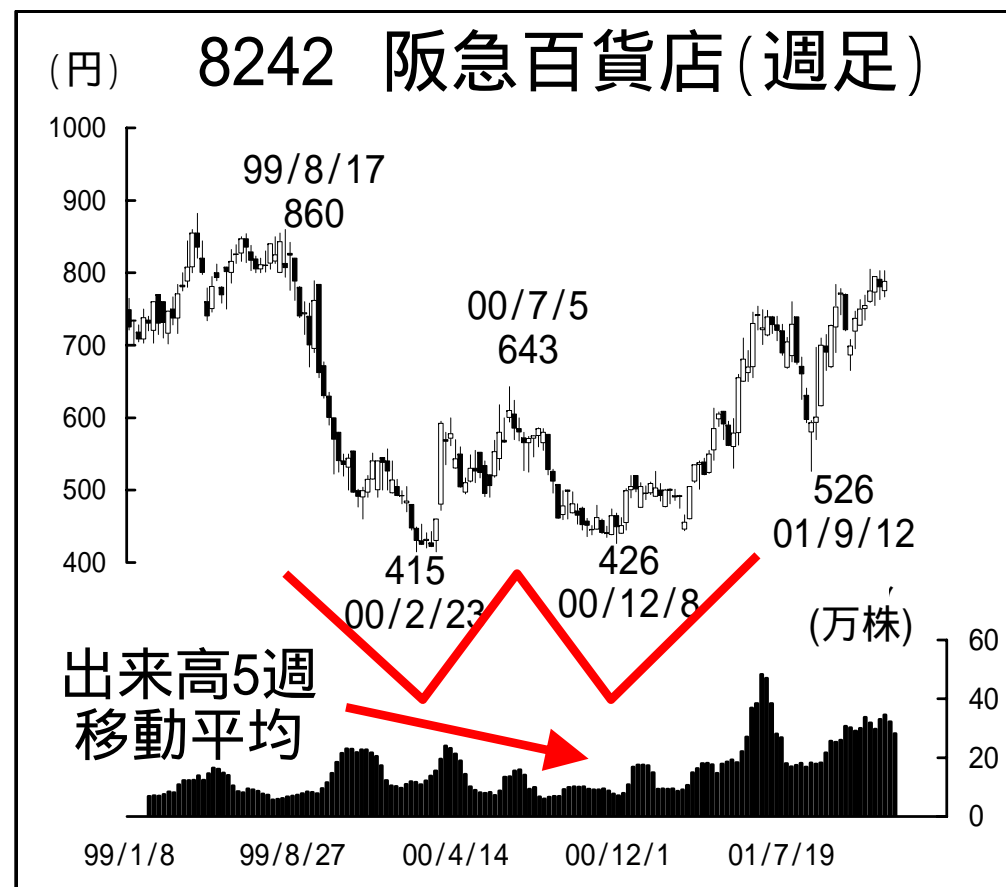
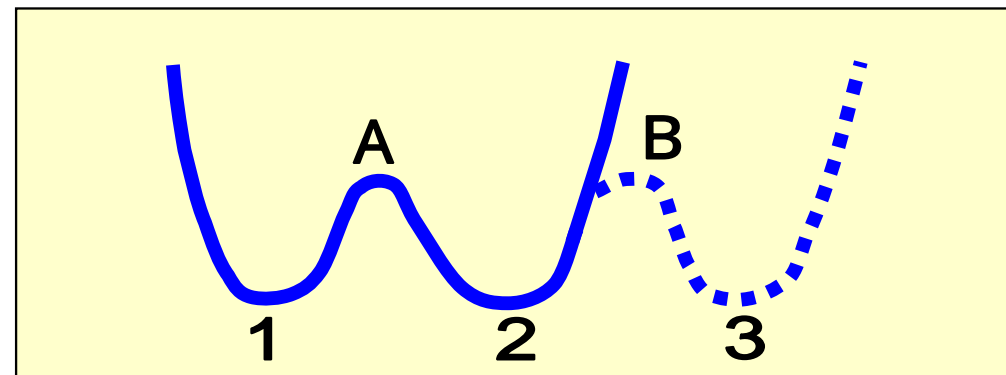
底値形成で最も有名。図のように真中が一番深い3つの谷で形成される。戻り高値A・Bを結んだ線「ネックライン」を上抜けることによりこのパターンは完成し、その後の株価上昇を決定付ける。出来高は1 < 2 < 3と増加することが必要である。上値メドはネックラインと底値との値幅をCの位置から上方に同幅だけとった位置となる。



2. チャートパターン

ダブルボトム型

1回目のボトムと同水準の位置で下げ止まり、しかも1回目よりも少ない出来高となり、それよりも下の価格で売りたいと思う投資家の減少が読み取れるパターンである。中間反騰のAを出来高を伴って上抜けることで底入れ確認となる。



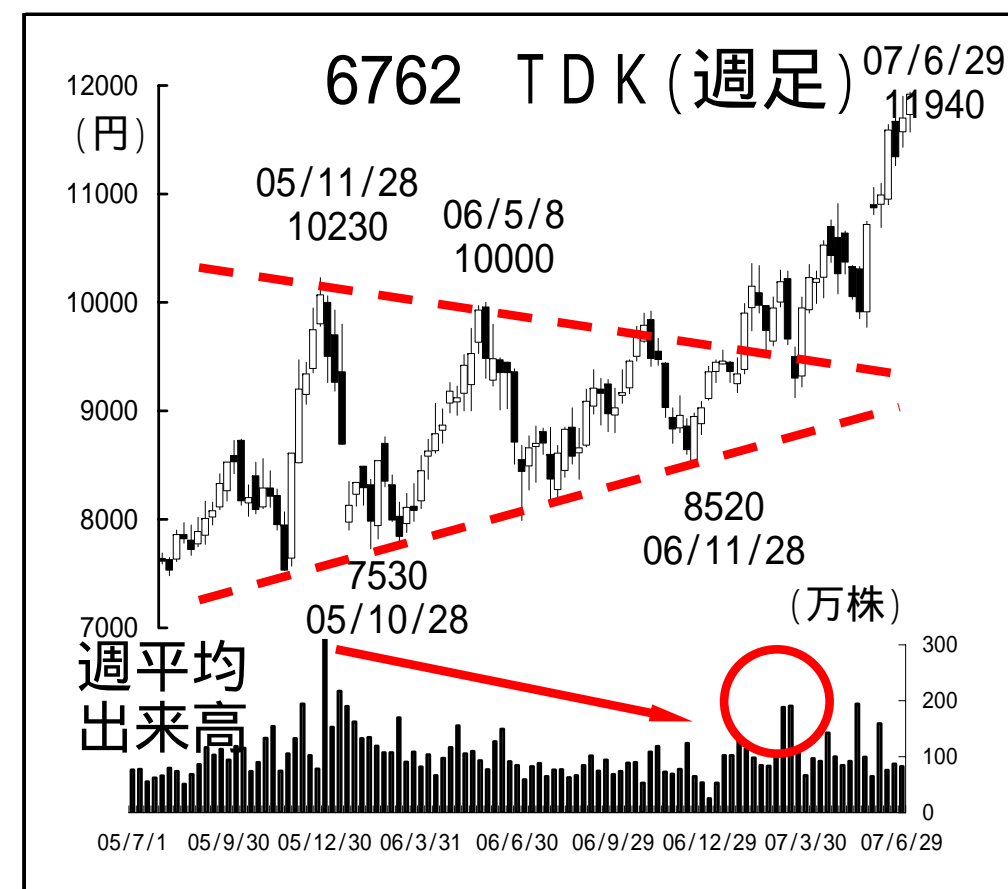
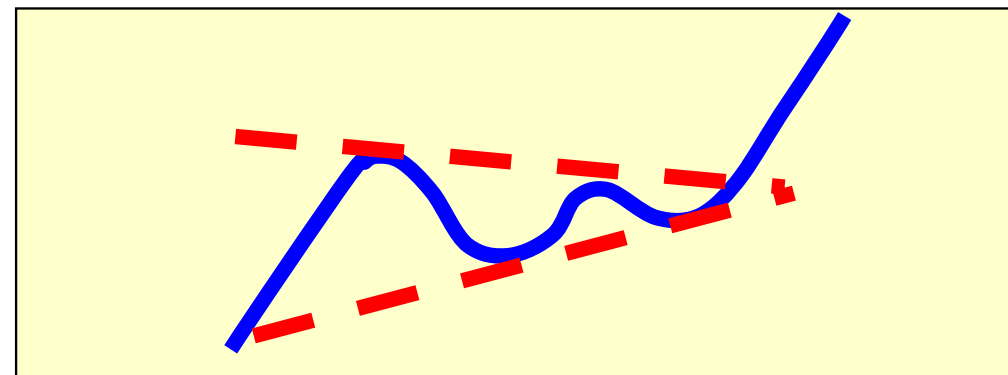
2. チャートパターン

(3) 中段保ち合い

三角保ち合い

高値と高値を結んだ線と安値と安値を結んだ線の幅が徐々に狭くなり、この線に囲まれた三角形の中で株価が推移するパターンである。投資のタイミングは上限線・下限線いずれかを突破したときとなる。

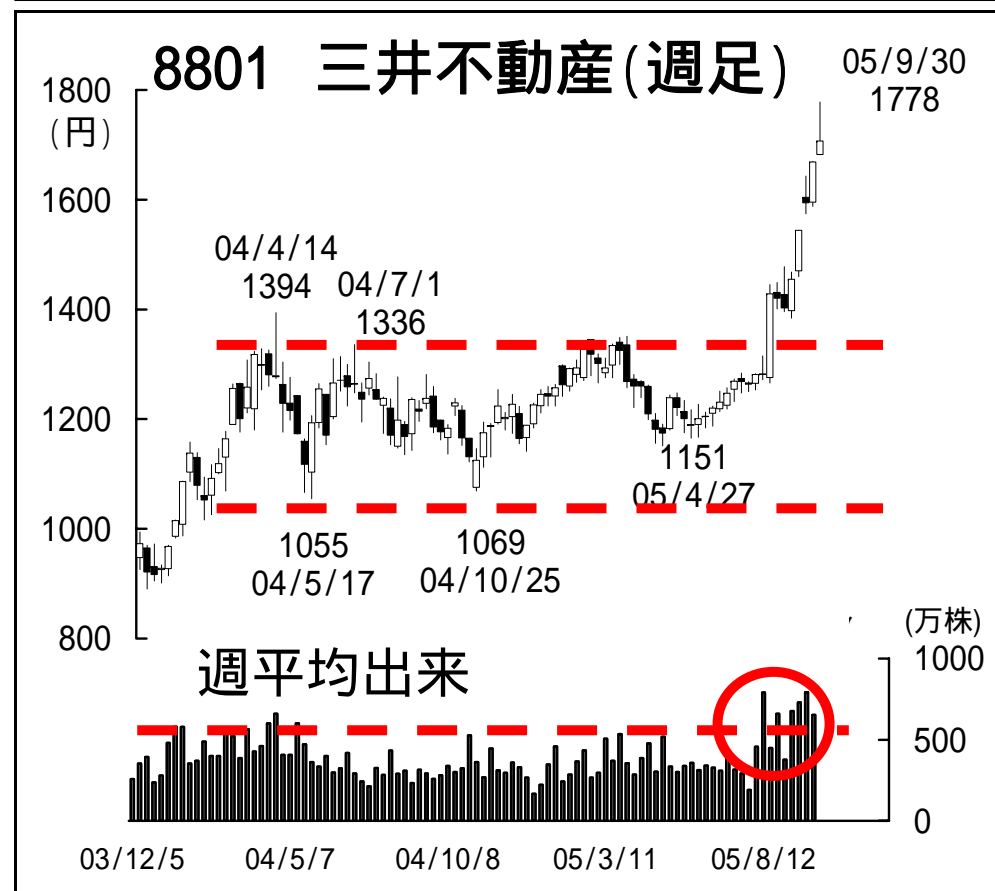
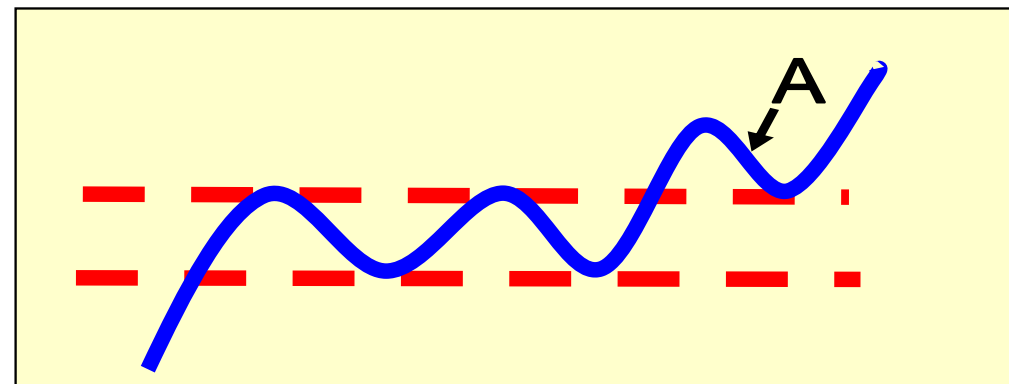
上抜け、下抜けする確率は五分五分と言え、トレンド転換・トレンド継続いずれのパターンにもなり得る。



2. チャートパターン

長方形型 (ボックス)

売手と買手の力関係の均衡が図のようなパターンを形成する。出来高は時を経過するに従って減少し、上限線、下限線いずれかを突破するとき急増する。投資のタイミングとしては、上限線を出来高を伴って上抜けた直後が、投資タイミングとなる。



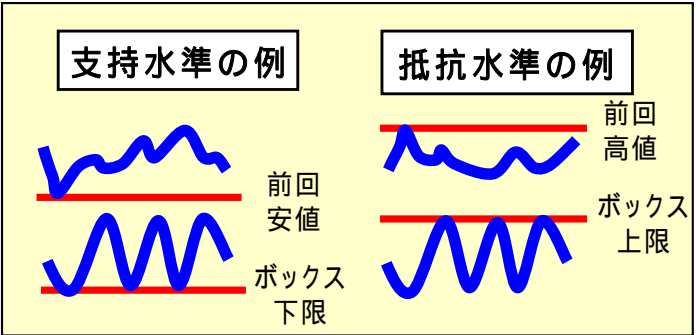
本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見、予測等は、資料作成時点における当社の判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

3. 支持と抵抗

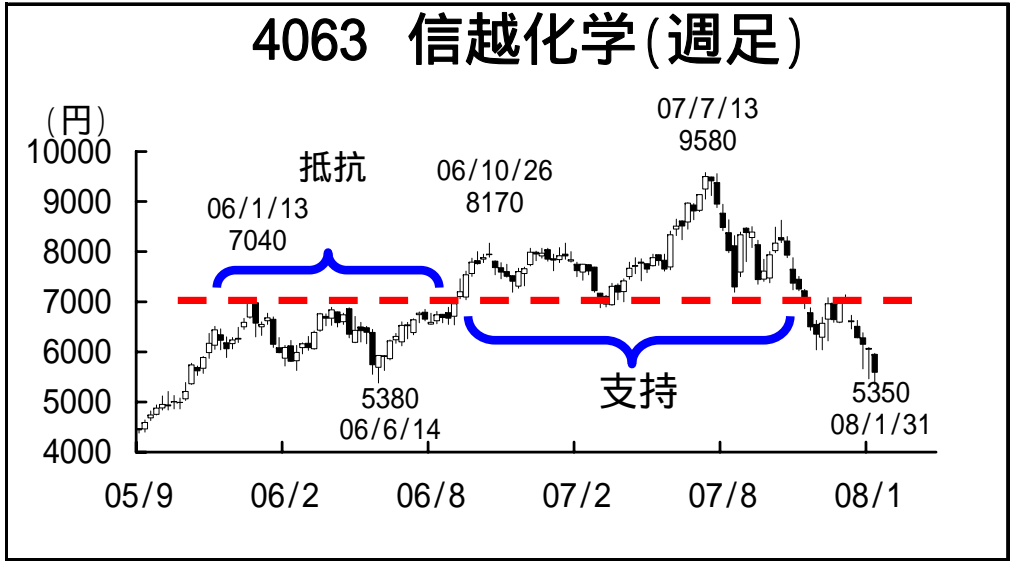
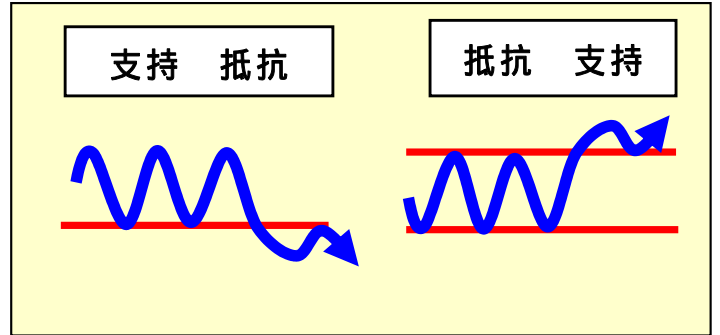
(1) 支持・抵抗とは

支持とは株価の節目で一時的に株価の下落を止め、それを反転させる買い需要のことであり、抵抗はその反対である。

< 抵抗が支持に変化した例 >



< 移動平均が支持・抵抗となっている例 >

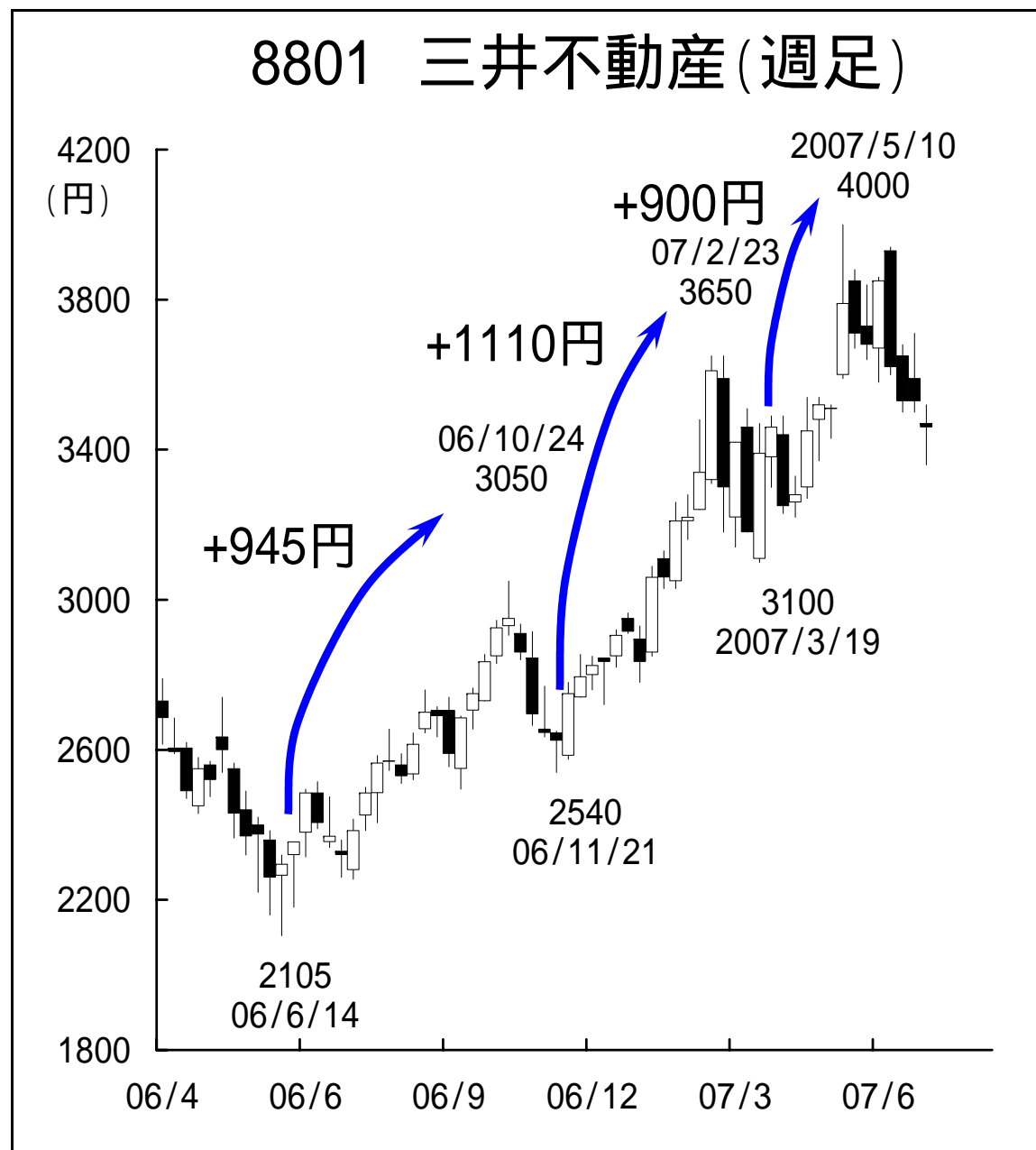
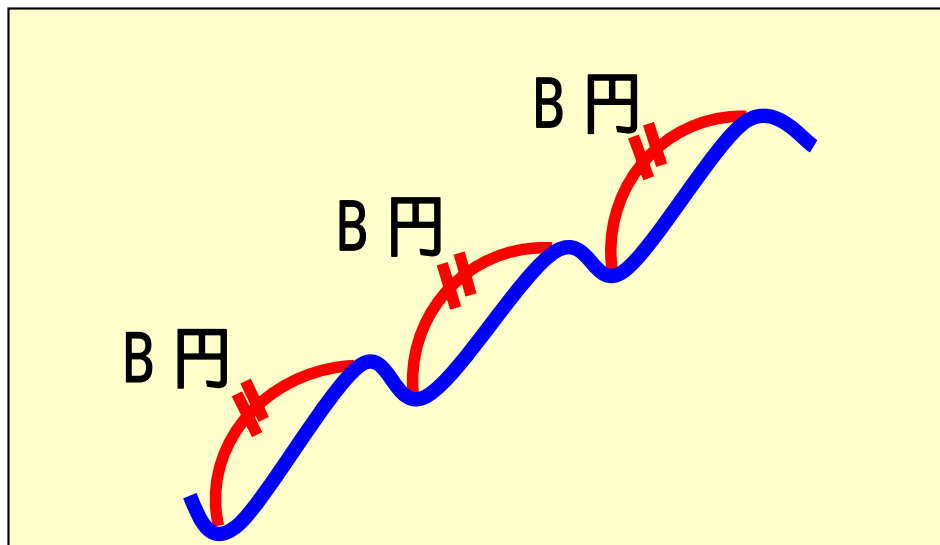


本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見、予測等は、資料作成時点における当社の判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

4. 波動の測定 (上値メド・下値メドの算出)

同幅上げ

中期的(3ヵ月・6ヵ月)な予測に適しており、過去の波動の上昇幅を今回の上昇の起点となった株価に加算して目標値を計算する。

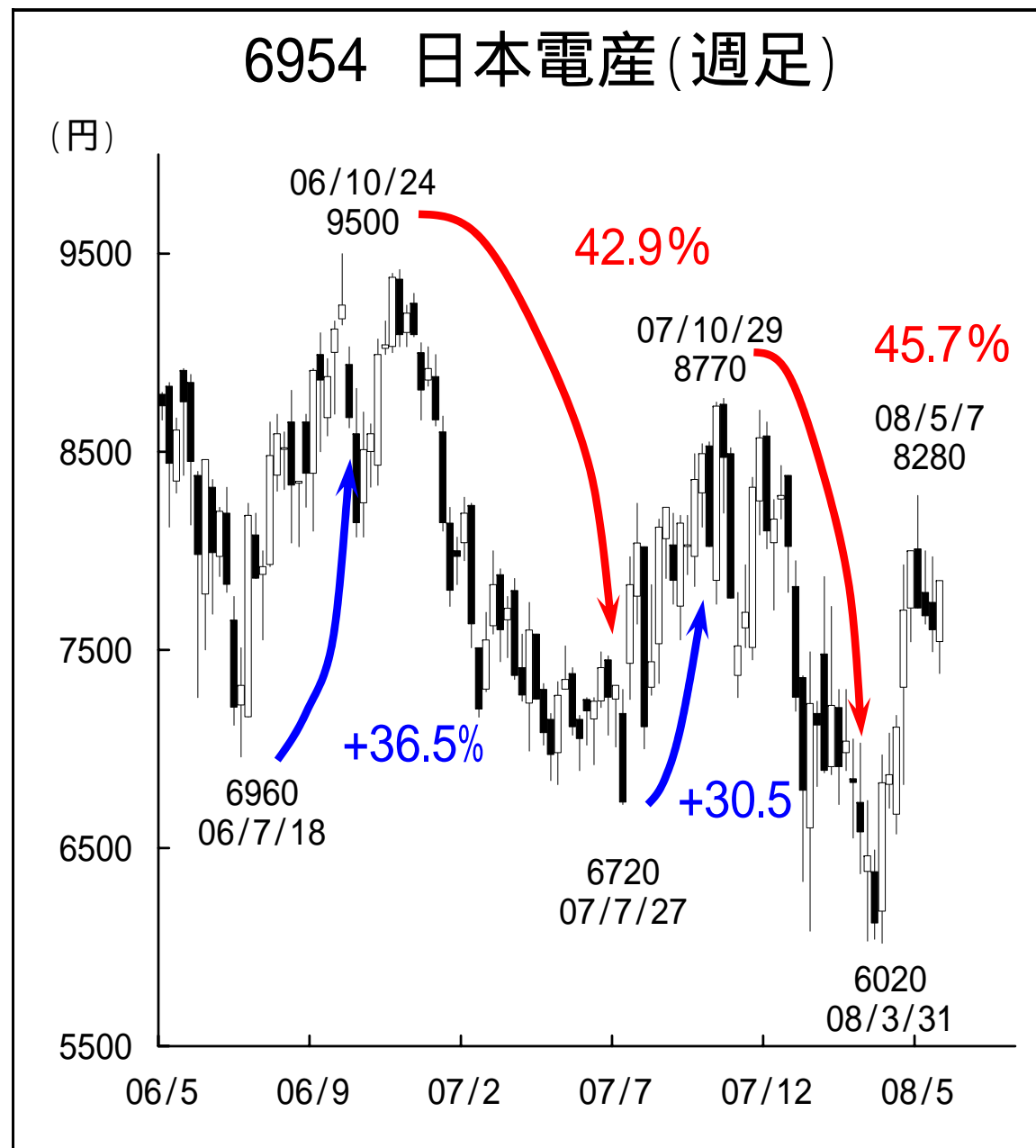
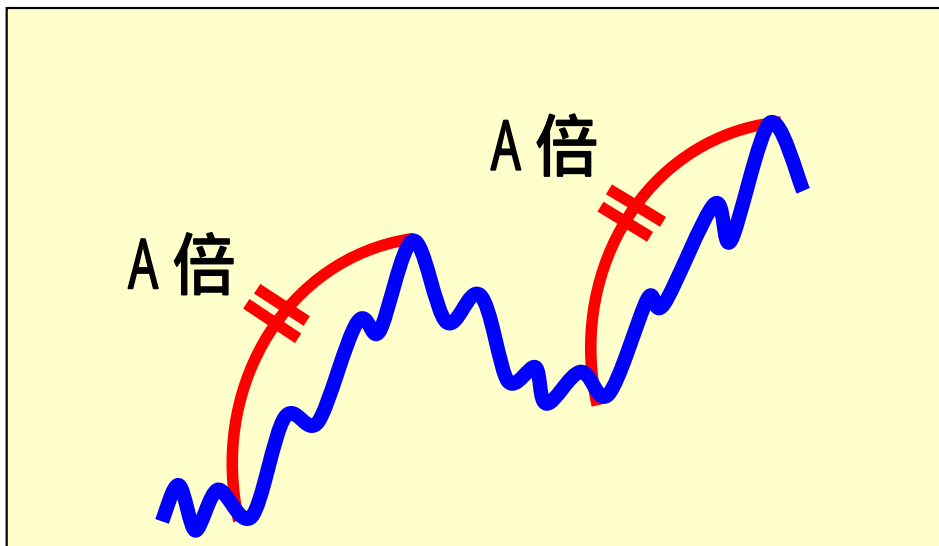


本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見、予測等は、資料作成時点における当社の判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

4. 波動の測定 (上値メド・下値メドの算出)

同率上げ

長期的(年単位)な予測に適しており、過去の波動の上昇率を今回の上昇の起点となった株価にかけて目標値を計算する。

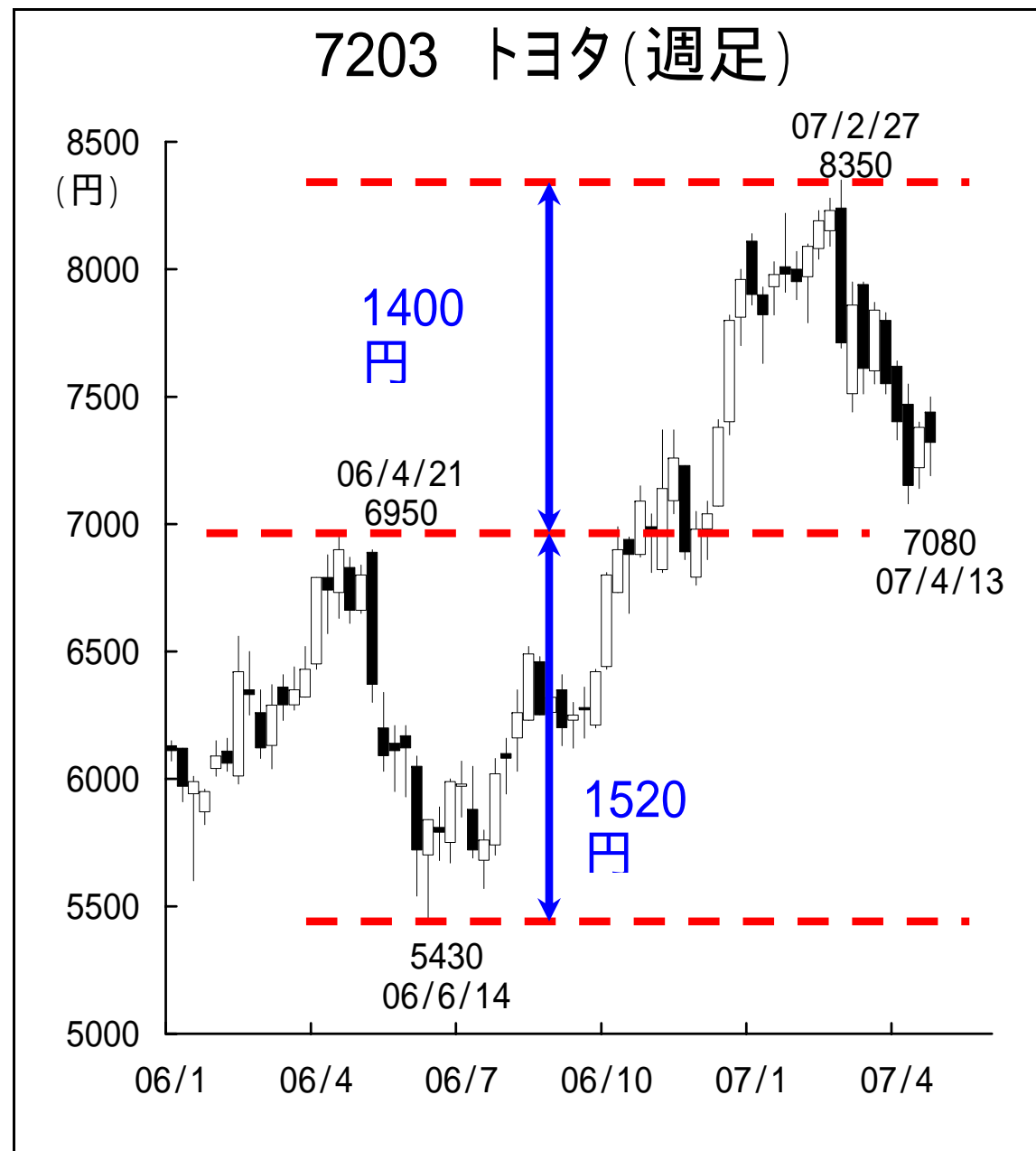
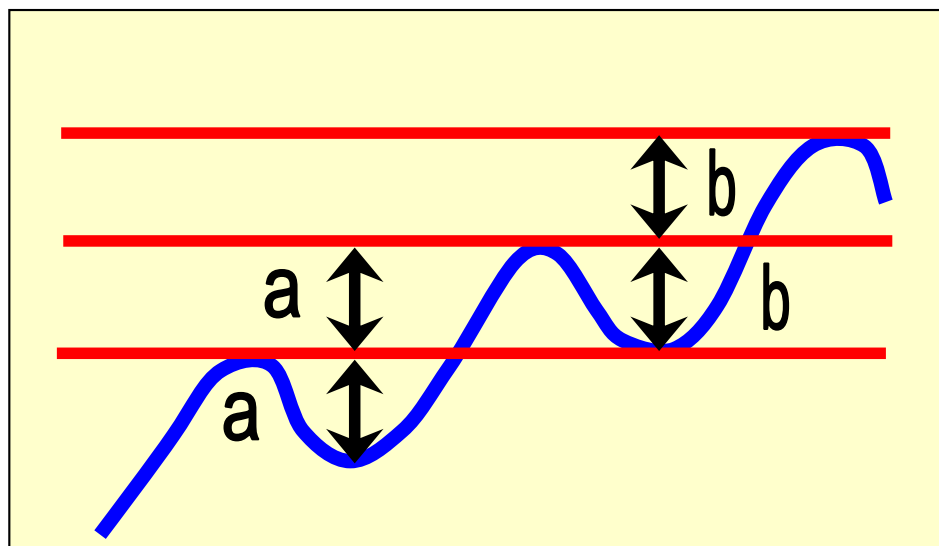


本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見、予測等は、資料作成時点における当社の判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

4. 波動の測定 (上値メド・下値メドの算出)

(2) 倍返し

調整で下げた幅だけ前回高値に上乗せして求める。別名「切返し」とも言う。

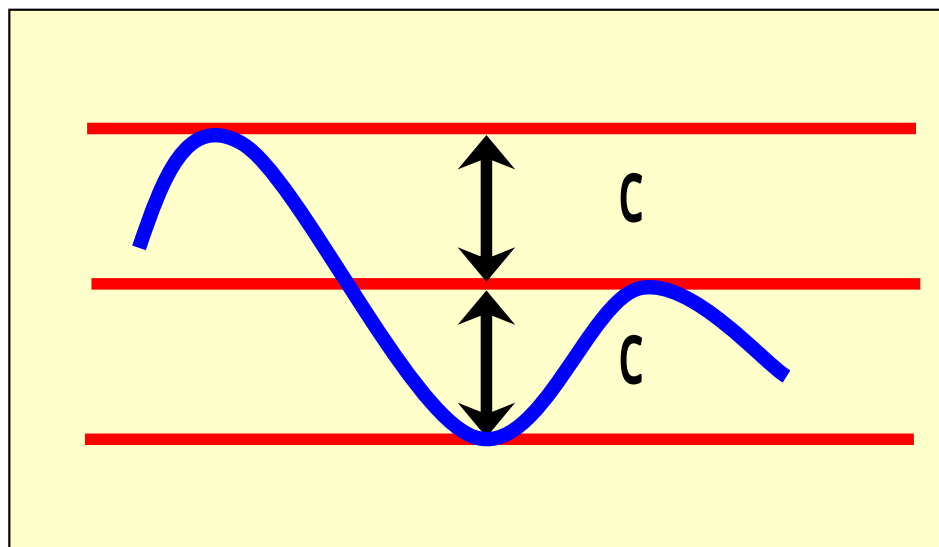


本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見、予測等は、資料作成時点における当社の判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

4. 波動の測定 (上値メド・下値メドの算出)

(3) 半値戻し

トレンドの中の押し目や戻りの計測によく使われるものが3分の1押し、半値押し、3分の1戻し、半値戻しという計測値である。



5. サイクル(日柄分析)

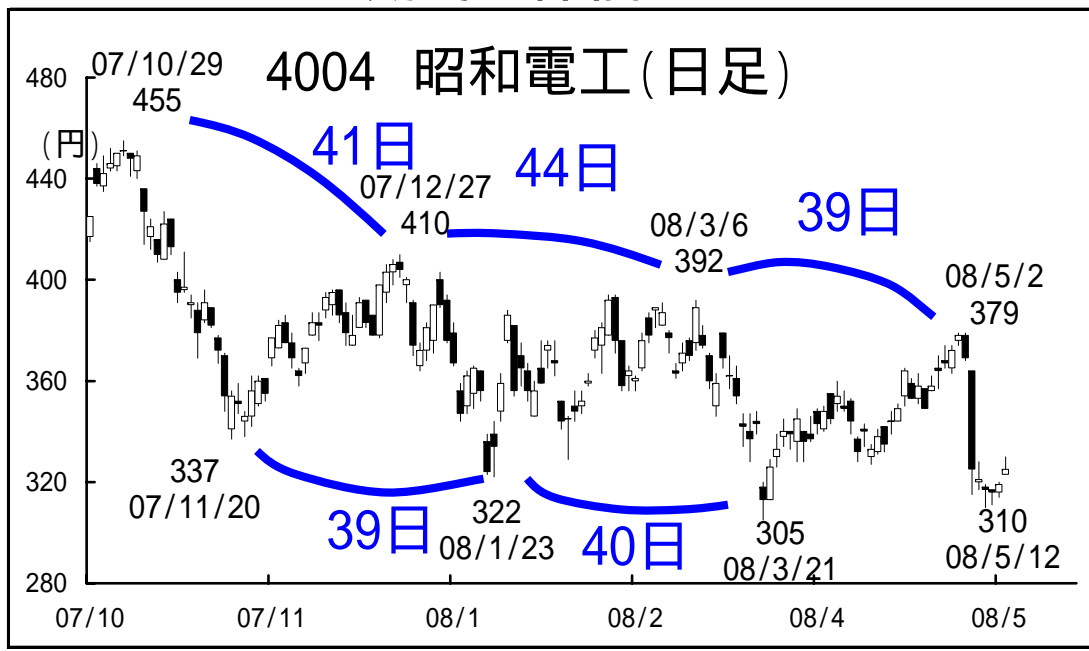
株価の波動は高値と高値、安値と安値の日柄間隔が一定となるケースがよく見られ、この循環をサイクルと呼ぶ。

(1) 株価のサイクル

弊社HP「多機能チャート」にて分析可能
(P.22の詳細設定にてピークボトム・日柄欄を選択)。

個別銘柄によって異なるサイクルを持つ。また、短期・中期・長期さまざまなサイクルがある。

< 短期的な株価サイクル >



< 中期的な株価サイクル >



本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見、予測等は、資料作成時点における当社の判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

5. サイクル(日柄分析)

(2) 景気循環と株価

より大きなサイクルを形成する要因として景気循環が考えられる。過去の日経平均も概ねこの循環に沿った動きが観測される。



構造循環(コンドラチェフ循環)

50年～60年にわたる長期の循環。技術革新による産業構造の変化によってもたらされる。

建設循環(クズネッツ循環)

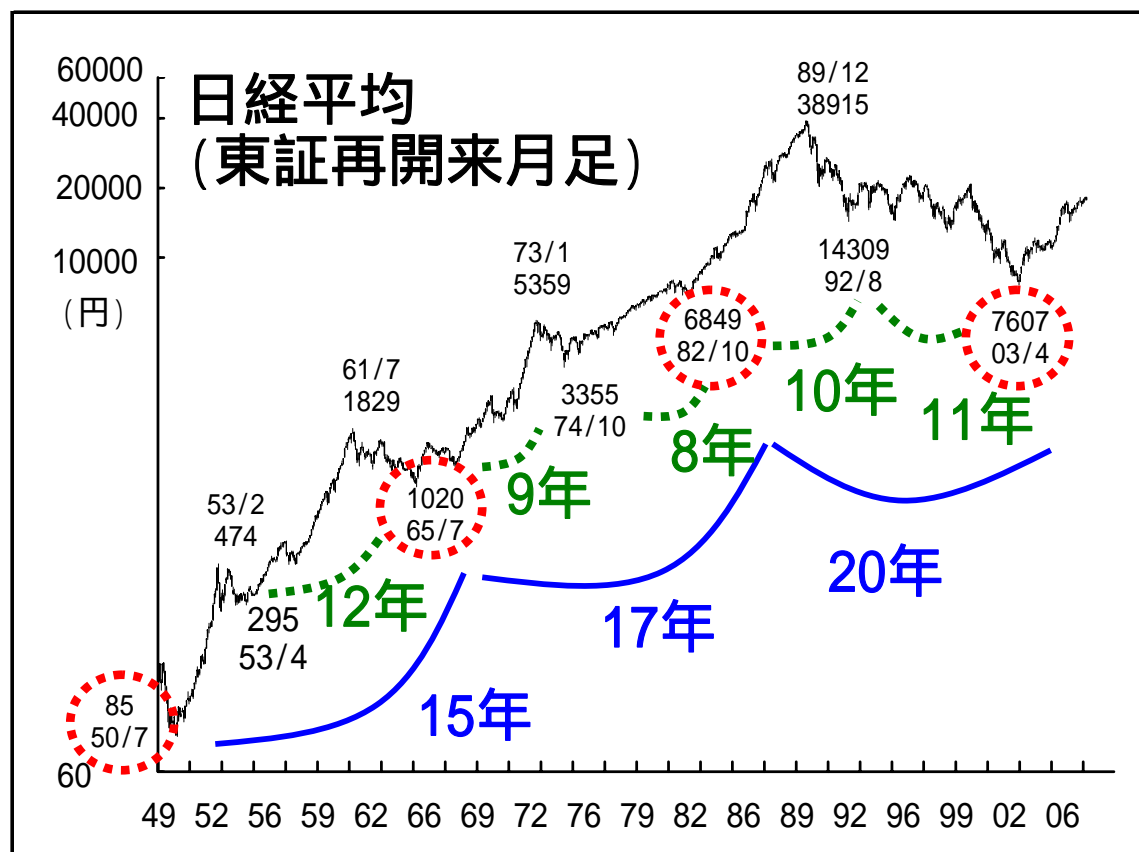
20年前後の循環。資本ストックの中でも特に建造物の更新によってもたらされる。

設備投資循環(ジュグラー循環)

10年前後の循環。設備投資の更新需要によってもたらされる。

在庫循環(キチン循環)

2年～4年の最も短い循環。在庫投資の変動によってもたらされる。










本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見、予測等は、資料作成時点における当社の判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

6. ローソク足

(1) 単独の足が持つ意味

ローソク足の形状によって、それぞれ以下の様な意味を持つ。(代表的なものを抜粋)

形状	呼び名	足の持つ意味
	大陽線	寄りきから大幅に上昇し、引けまで高値を維持できた線。先高見込みの強い足。
	小陽線	売り買いの勢力が拮抗し、ヒゲが短く実体も短い線。気迷いを表す。陰線の場合も同じ意味。
	上影陽線	上ヒゲが長く、実体が短い線。終値が高値を維持できずに安くなり、上値の重さを表す。
	下影陽線	下ヒゲが長く、実体が短い線。寄りきから安くなるが、後半立ち直っており、底堅さを表す。下位に出れば上昇転換を暗示する。
	大陰線	寄りきから大幅に下落し、引けまで株価が戻らなかった線。先安見込みの足。
	下影陰線	長い下ヒゲのある陰線。上位に出れば売り、下位に出れば買いを暗示する。
	寄り引同値	始値と終値が等しいものを言う。基本形は「十字線」だが、上ヒゲのない「トンボ」、下ヒゲのない「塔婆」、上ヒゲ、下ヒゲともない「四値同値」もある。攻防の分岐点、転換点を意味する。

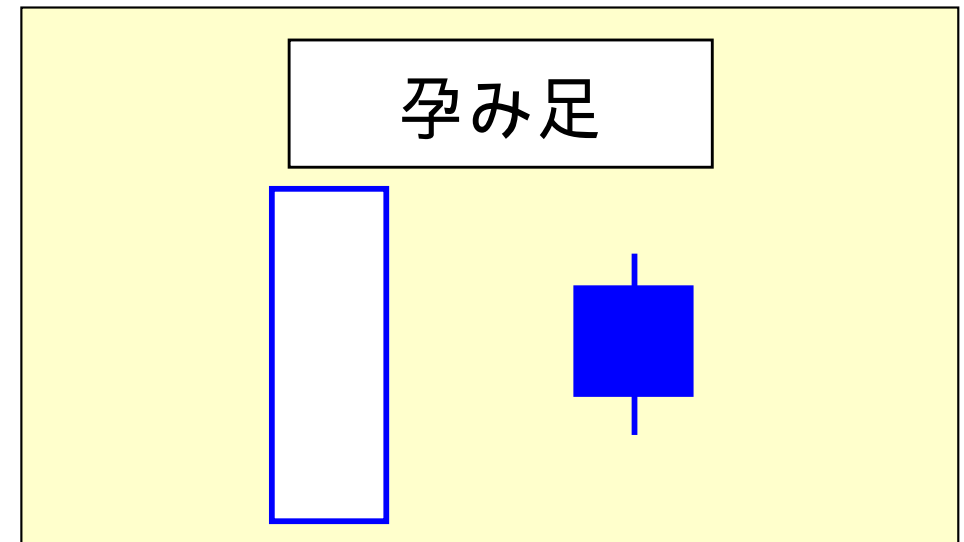
6. ローソク足

(2) 二本の組み合わせ

一本の足だけでなく、二本以上の組み合わせで意味を成すものがあり、以下は代表的なものである。

孕み(はらみ)足

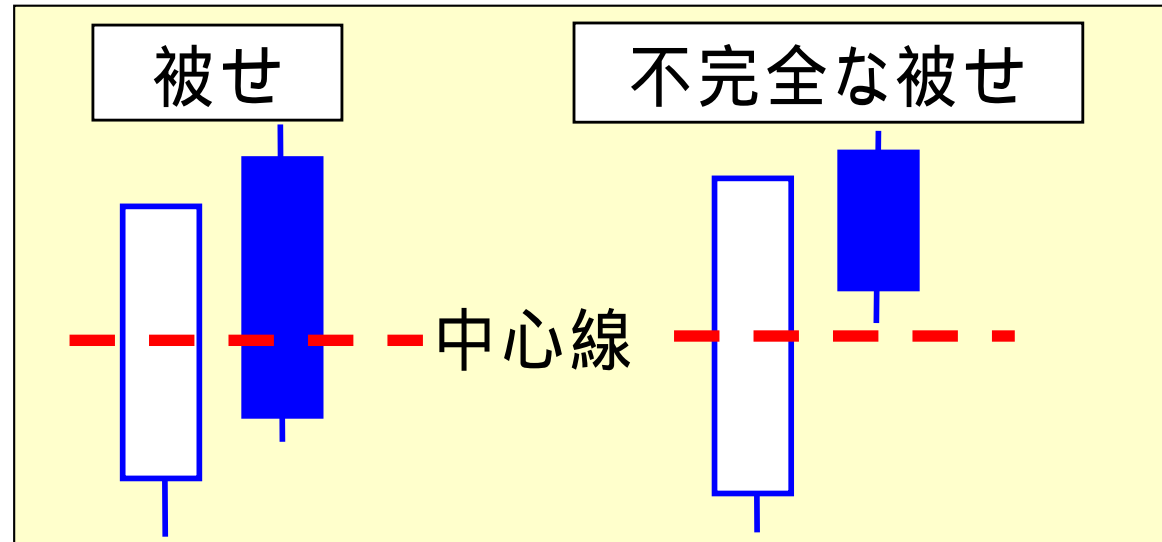
当日の実体部分の値幅が前日の値幅の中で動き、売り方、買い方の勢力が拮抗した状態を表している。一般的には変化の前兆と捉えられ、この足自身の意味よりも、その翌日の動きで決定するための注意を喚起する足と捉えたい。



6. ローソク足

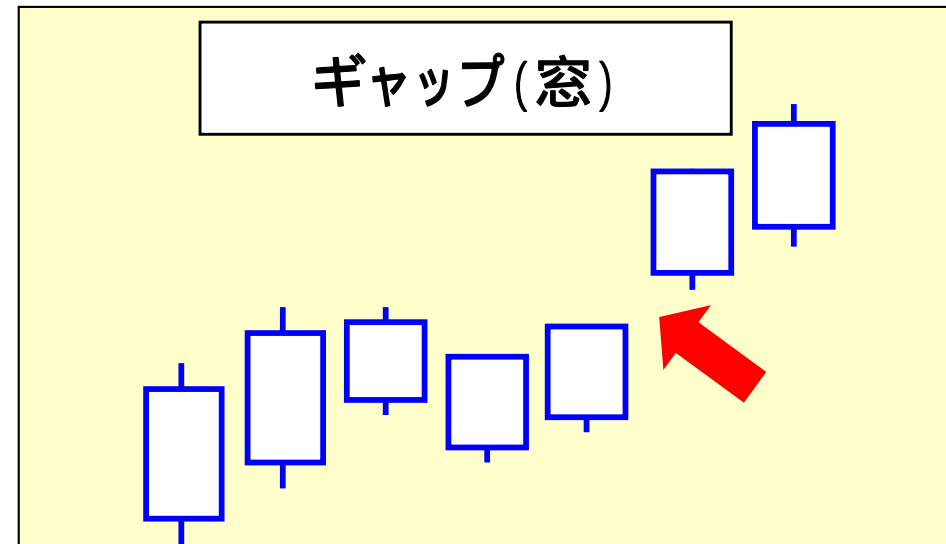
被せ(かぶせ)足

長い陽線を出した翌日、勢い余って高寄りするが、その後伸び悩み反落、前日の陽線に食い込んで陰線で引けた足。売り勢力が強いことを示す。



窓(まど・ギャップ)

「空」とも言われ、図の様に全く取引のない範囲を指す。保ち合い抜けなど、相場上昇に勢いが付いている時によく見られる。その後相場が反落しても窓は強力な支持機能を持つ。「押しは空まで」という言葉もある。

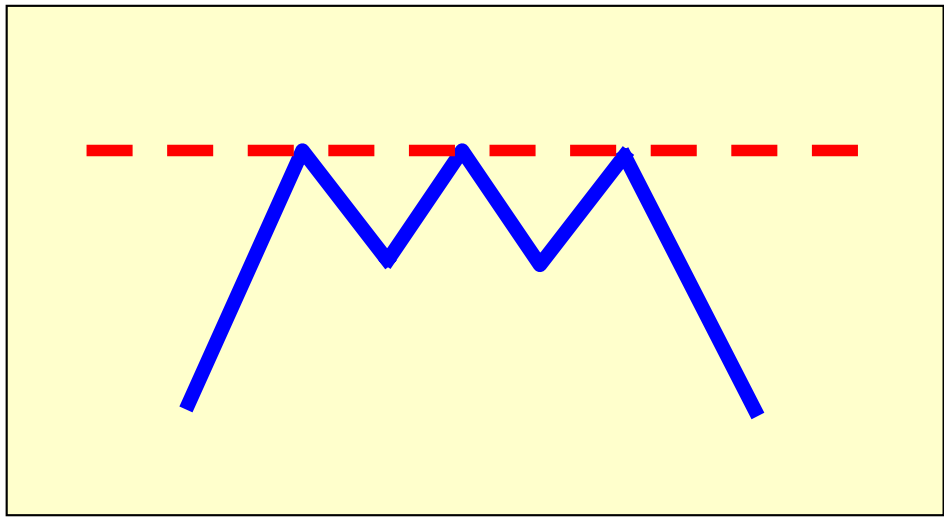


6. ローソク足

(3) 酒田五法

三山(さんざん)

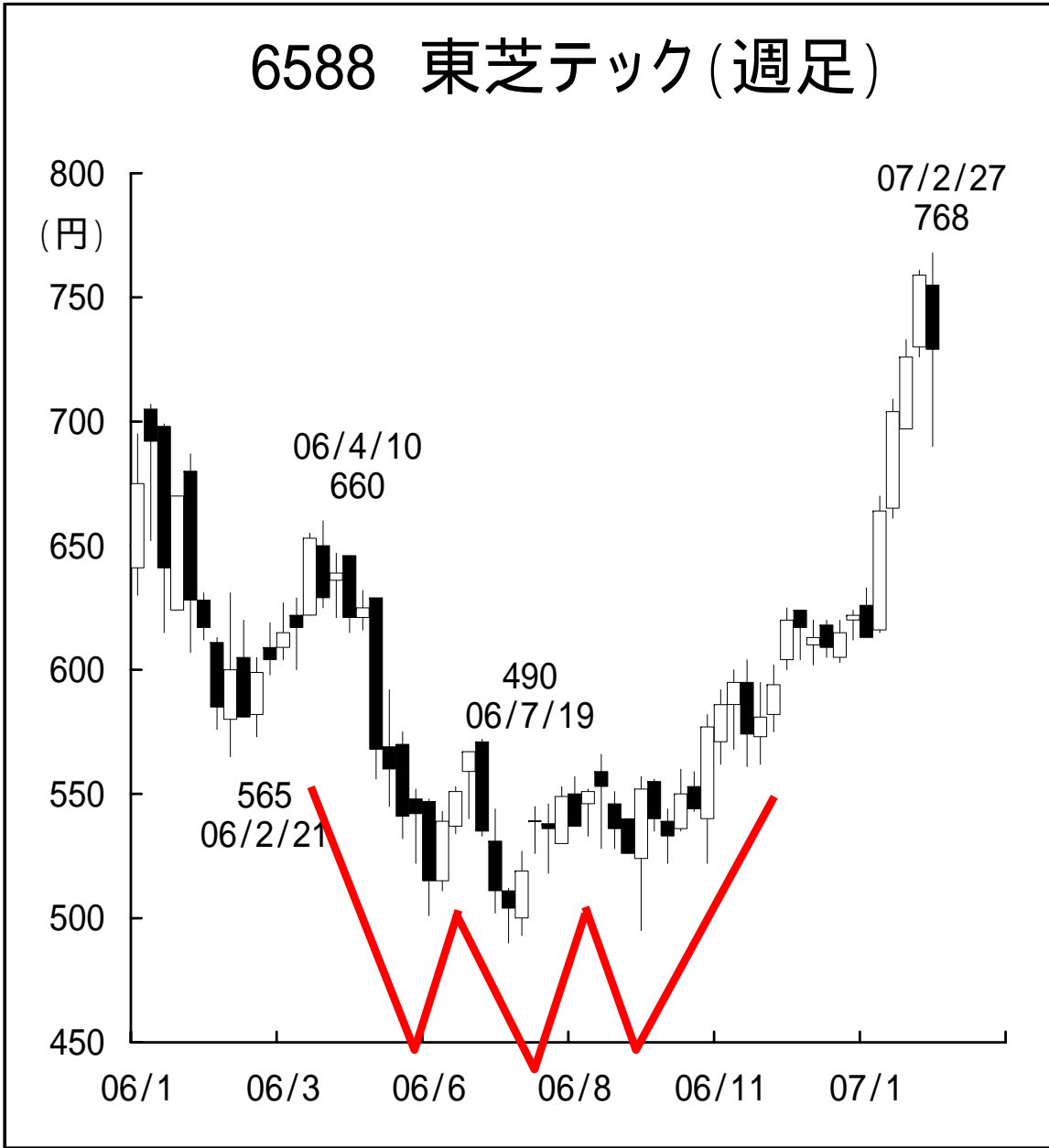
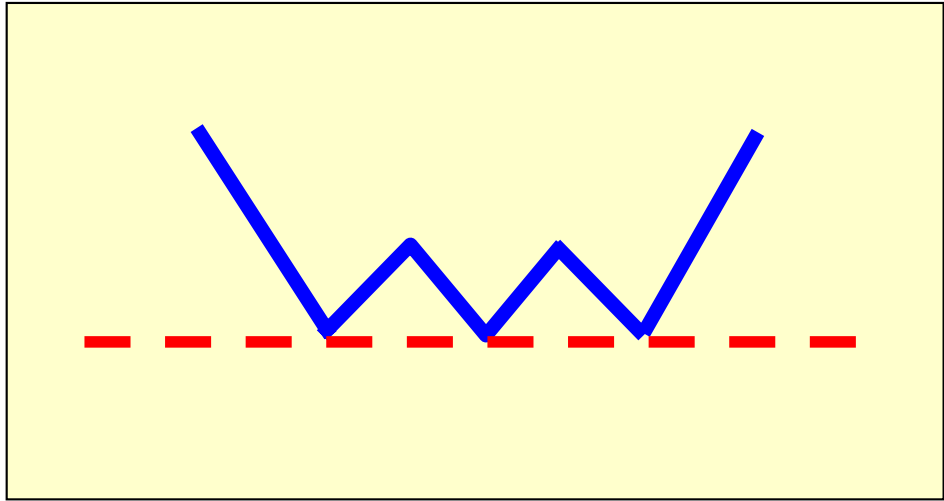
市場の買い意欲が旺盛で、ほぼ同水準の高値に3回挑戦するが、それを抜けずに天井を形成するパターン。中央の高値が他よりも高くなっているものを三尊天井と言う。



6. ローソク足

三 川(さんせん)

三山の逆のパターン。三回売り
たたいても安値を割り込まず反
発する底入れの型である。

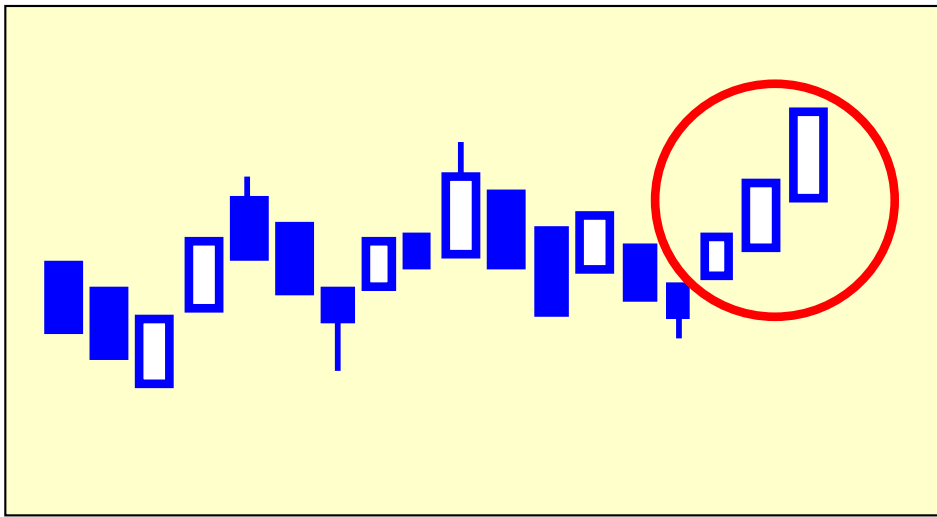


本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見、予測等は、資料作成時点における当社の判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

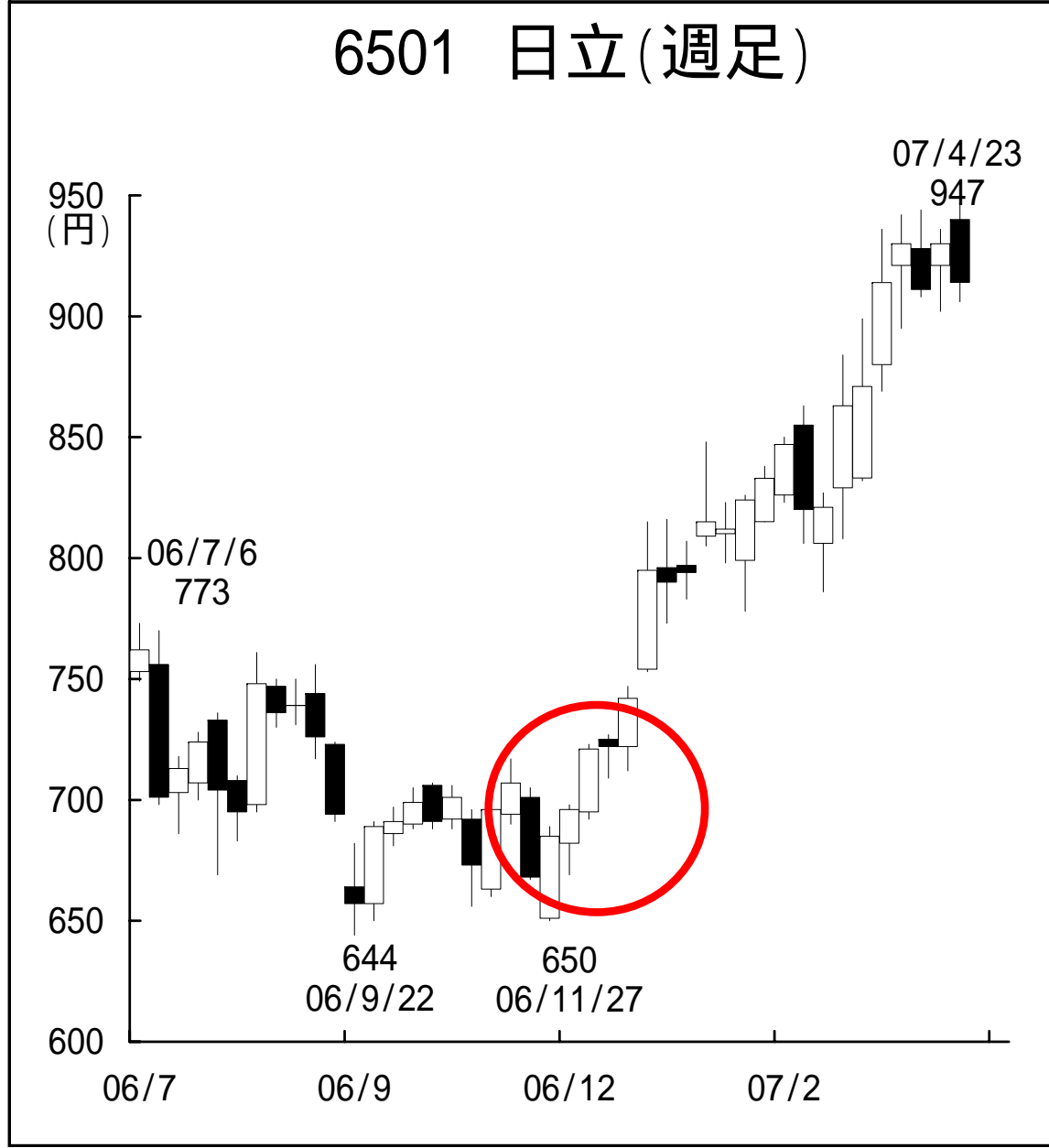
6. ローソク足

三兵(さんぺい)

上昇相場のスタートを暗示する足。ある程度の底練りを経て底値の堅さが確認された後、比較的短線ながらも陽線を三本連続する形。逆に高値圏での保ち合いから陰線三本連続は暴落の兆しとして注意したい。



6501 日立(週足)

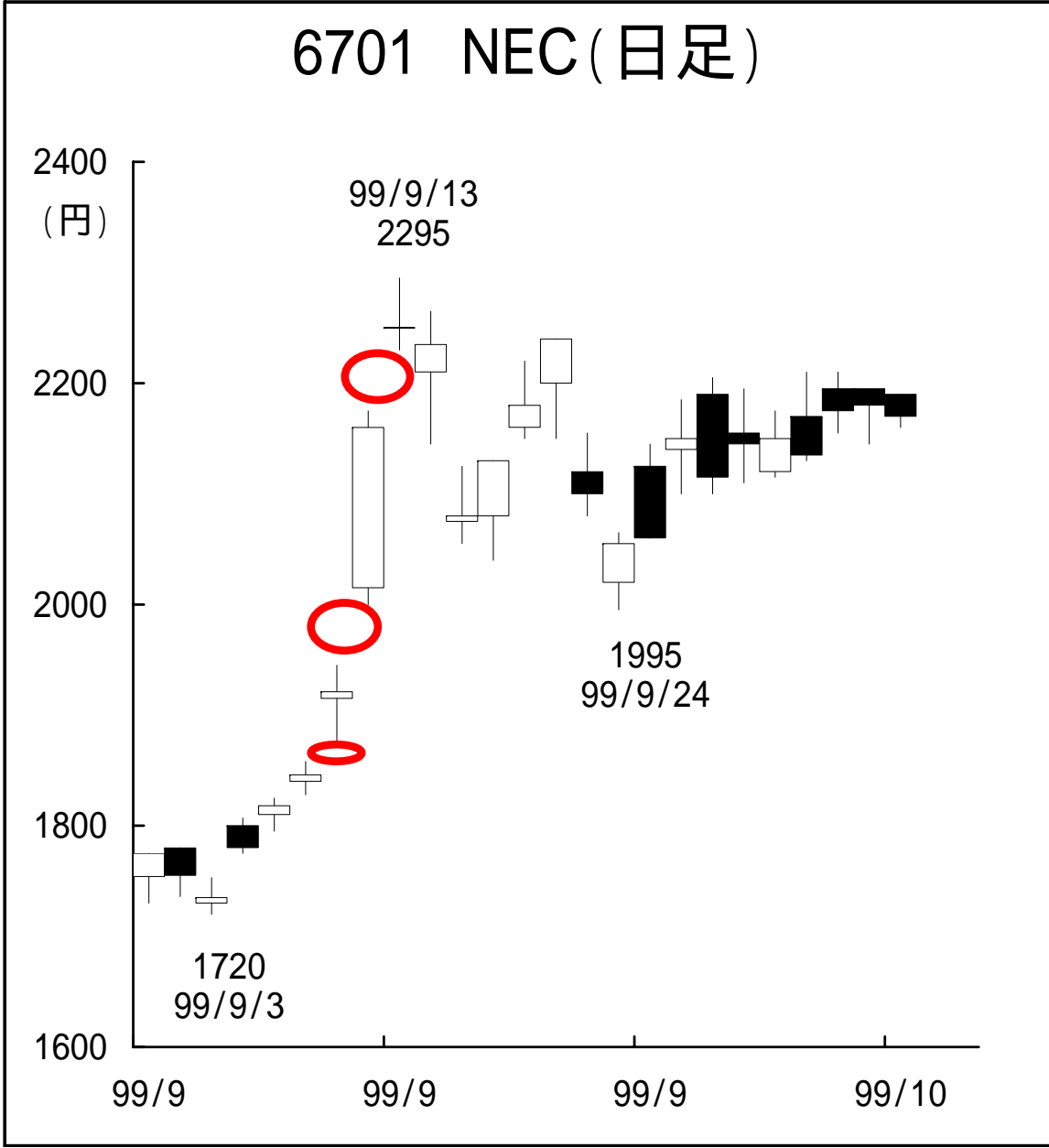
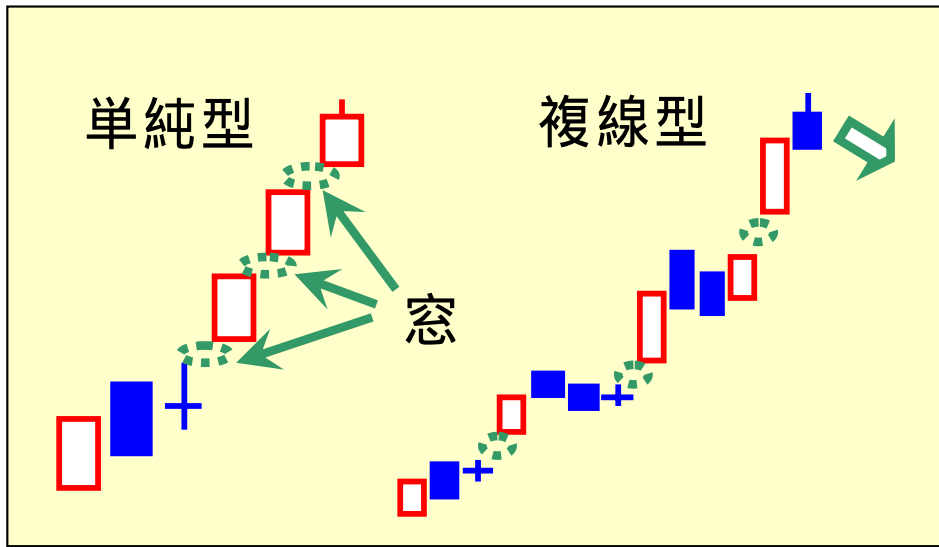


本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見、予測等は、資料作成時点における当社の判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

6. ローソク足

三空(さんくう)

窓が3つ連続する型。強力な買い勢力により株価は急騰を演じるが、第3の窓の後には急落の可能性もあり、利喰いを考えたい。

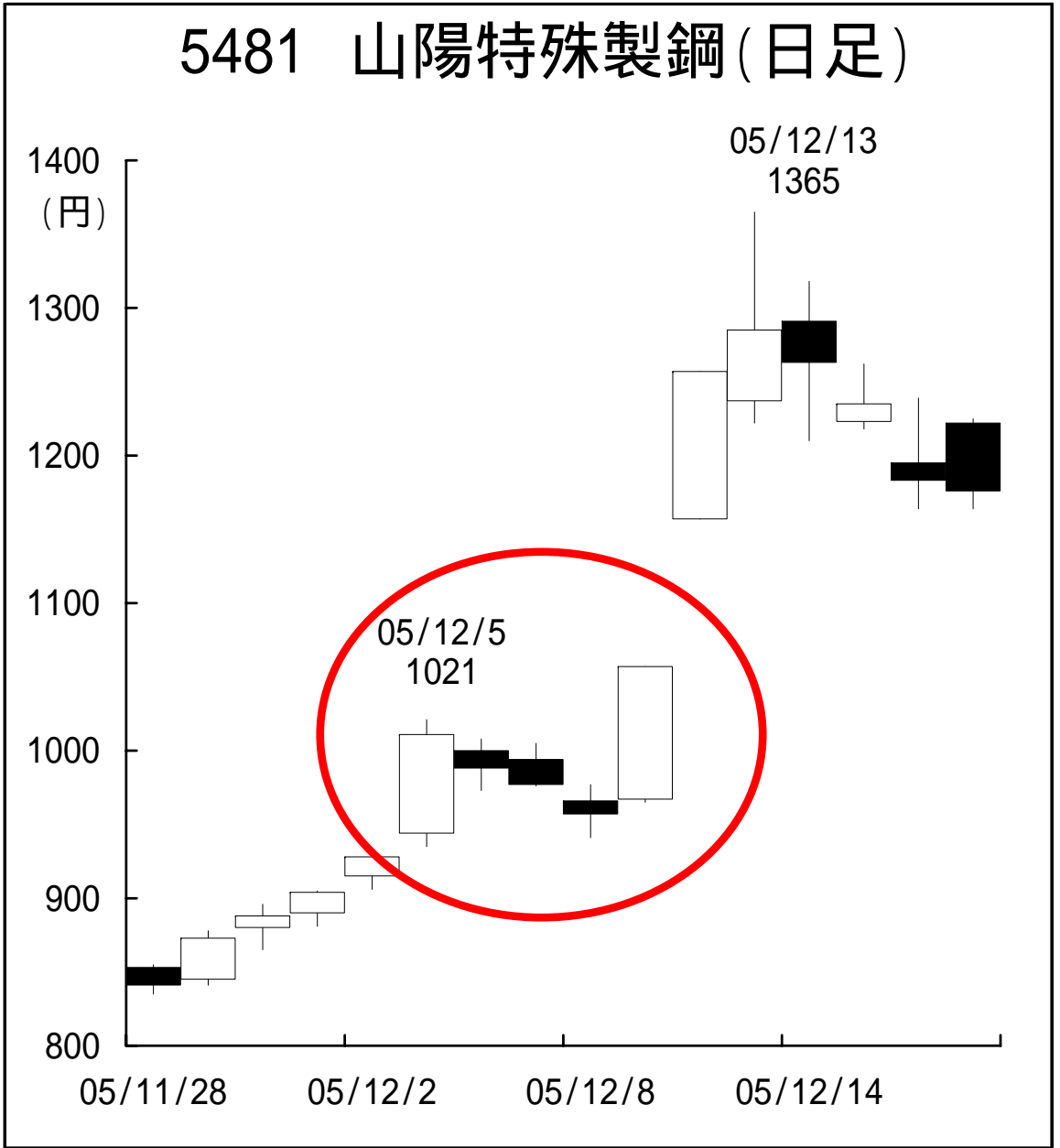
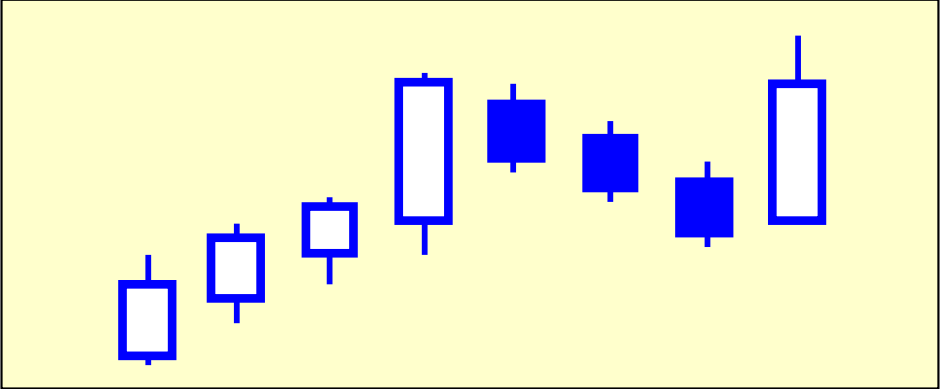


本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見、予測等は、資料作成時点における当社の判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

6. ローソク足

三法(さんぼう)

「売り、買い、休み」の三法。「休むも相場」と格言に言われるように、相場の方向が不透明で迷いが生じたときには一旦手仕舞い、今後の方針を考える必要があることを説いている。「上げ三法」の場合、高値圏の陽線のあと三本陰線をはらみ、相場は一休みとなるが、次に前日線より高い値段で寄り付いた陽線が出れば買いとなる。



本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見、予測等は、資料作成時点における当社の判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。



6606円
9ヵ月調整

7607円
9ヵ月経過

本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見、予測等は、資料作成時点における当社の判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

チャート分析による相場展望

~ NYダウ 日柄分析 ~



本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見、予測等は、資料作成時点における当社の判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。

チャート分析による相場展望

～ 円ドルレート チャートパターン ～



本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見、予測等は、資料作成時点における当社の判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。



本資料は投資判断の参考となる情報提供を目的としたもので、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したものです。情報の正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載された意見、予測等は、資料作成時点における当社の判断に基づくもので、今後、予告なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行うようお願い申し上げます。